

《担当者名》 奥田 かおり(k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp) 佐々木 敏明(非)

【概要】

「精神保健学とは？」という問からはじめるこの講義では精神保健の定義(広義・狭義)を探索しながら精神面での保健を幅広い視点から捉える。現代社会の目まぐるしい変化が、人々の心身の健康にどのような影響を与えているかを学び、精神の健康の増進、安定、回復のための知見や今後の課題を学ぶ。また自分自身の精神の健康への理解を深める。

【学修目標】

1. 精神保健の定義を把握し、精神の健康の保持、増進についてその基礎知識を理解する。
2. 自分自身のライフサイクルを理解し、精神の健康の維持、促進に励むことができる。
3. 精神保健学は本学のディプロマポリシーの、「DP2」の要素を満たす科目であり、福祉専門職に必要な知識を修得することができる

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|------------------------------|---|------------------|
| 1 | オリエンテーション 精神保健の概要・定義 | 授業の目的と内容の説明 ライフサイクルの定義をもちいて「自分を知る」ということの意義について理解する 日本、世界における広義・狭義について知る 法律のなかでの精神保健の定義について理解する | 奥田 |
| 2 | 精神保健の歴史的背景・課題 精神保健の動向 | 社会構造の変化と新しい健康感を認識する 日本の精神保健の歴史について動画を鑑賞しテキストで予習したことと関係づける | 奥田 |
| 3 | ワークショップ ライフヒストリ & ライフサイクル | 自分のライフサイクルについて理解を深める | 奥田 |
| 4 | ライフサイクルと精神の健康 | ライフサイクル理論を展開したエリクソンについて理解を深める。 8つの発達段階について自分のライフヒストリーと関連づける | 奥田 |
| 5 | ライフサイクル | 出生前・胎児期・乳児期における発達課題とその時期に発生しやすい精神保健の課題を知る 幼児期・学童期の発達課題とその時期に発生しやすい精神保健の課題を知る | 奥田 |
| 6 | ライフサイクル | 思春期・青年期における発達課題とその時期に発生しやすい精神保健の課題を知る | 奥田 |
| 7 | ライフサイクル | 成人期(壮年・中年)における発達課題とその時期に発生しやすい精神保健の課題を知る | 奥田 |
| 8 | ライフサイクル | 当事者の講話を聴き、青年期の精神障害について理解を深める 当事者とのディスカッションを通じて精神保健ソーシャルワークにおける課題について批判する | 奥田 土屋 大(特別講師) |
| 9 | ライフサイクル | 老年期における発達課題とその時期に発生しやすい精神保健の課題を知る | 佐々木 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|----------------------------------|--|------------------|
| 10 | 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ | 災害被害者、反復違法行為、犯罪被害者等の精神保健と支援におけるアプローチと課題を知る 社会的孤立の実態について知る | 奥田 |
| 11 | 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ | 性的マイノリティーと精神保健について理解を深める。多文化に接することで生じる精神保健上の問題について知る | 奥田 |
| 12 | 精神保健に関する専門職種 | 公的な機関に務める精神保健福祉士の役割（地域、病院）について学ぶ 精神保健に関係する行政機関や各団体の役割、専門職の役割を知る | 奥田 武市浩之（特別講師） |
| 13 | 精神保健に関する専門職種 | 精神保健に関係する行政機関や各団体の役割、専門職の役割を知る | 奥田 |
| 14 | 地域精神保健における偏見・差別等の課題 | 現代社会における精神障害者に対する偏見・差別について理解を深める 精神保健に関する多様な課題への対応について理解を深める | 奥田 |
| 15 | 地域精神保健に関する偏見・差別等の課題 精神保健学 まとめ | 精神障害者に対する偏見・差別に関し、どのような取り組みができるかについてグループでディスカッションを通じて理解を深める | 奥田 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ゲストスピーカーレポート 各10%×2
プレゼンテーション 30%
定期試験 50%

【教科書】

新・精神保健福祉士養成講座2．現代の精神保健の課題と支援 中央法規

【備考】

精神保健福祉士国家受験資格取得のための「現代の精神保健の課題と支援」、スクールソーシャルワーク教育課程の追加科目に該当する。また介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「こころとからだのしくみ」の「発達と老化の理解」に該当する。

【学修の準備】

授業の前に授業内容に該当する箇所のテキストを読んでおくこと（45分程度）。
授業を受けた後は必ず復習して要点を整理しておくとともに、疑問点は次回に質問すること。
単に知識として学ぶだけでなく、自分の心の状態や人格形成の歩みと照らし合わせながら受講すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3

【実務経験】

奥田かおり（ソーシャルワーカー）佐々木敏明（ソーシャルワーカー）

【実務経験を活かした教育内容】

奥田かおり： 社会福祉施設（母子生活支援施設）、精神保健福祉領域（医療機関）などでの実務経験を活かしアクティブラーニングスタイルで実践的な教育を行う。
佐々木敏明： 精神保健福祉領域（行政・医療機関）での実務経験を通じて得た知識・技術等を活用し実践的な教育を行う。